

令和6年度 神奈川県立上溝高等学校 修了式 校長のことば

皆さん、おはようございます。

今日は、令和6年度の修了式です。修了式のあと、離任式があります。

まず、1年生の皆さんへ。

約1年前に入試を突破し、合格。そして入学。まもなく1年経ちますが、どうですか？
思い描いていた「高校生活」を送れていますか？

2年生は、体育祭や部活動で主導的な役割を担うことが多くなったと思います。
修学旅行等、とても印象深い経験をする機会がありました。盛りだくさんの1年間だったのではないのでしょうか。

それぞれ両学年の皆さんが、これから上級学年へと進級し、「心機一転だ。」と気持ちの切り替えをするいい機会だと思います。

今年度の出来事です。2024年7月3日に新紙幣の発行が始まりました。新紙幣の刷新は、約**20年**ぶりで、偽造防止と使いやすさの向上が狙いだとのことです。それぞれお札のデザインは、一万円札が福澤諭吉から渋沢栄一へ、五千円札は樋口一葉から津田梅子へ、千円札は野口英世から北里柴三郎へと変わりました。

まずは一万円札にちなんで、日本の資本主義の父とされる実業家の渋沢栄一は、自伝の中で、**夢を持つことの大切さ**を説いています。彼は、埼玉県深谷市出身で、深谷には渋沢栄一の生家があり、すぐ近くに渋沢栄一記念館もあります。深谷でつくったレンガが、東京駅に使われています。

だから、一万円札の裏は、東京駅の駅舎になっています。ちなみに深谷駅も東京駅を模した建物になっています。

続いて、五千円札では、女性の地位向上に尽力のちに大学（津田塾大学）を創った教育家の津田梅子が、**「成し遂げることは、難しくても挑戦し、継続することが成功の鍵だ。」**と語っています。

次に千円札ですが、破傷風の治療法を確立した細菌学者の北里柴三郎は、**「基礎がなくては極められない」**と語っています。

ちなみに、上高生の皆さんにお伝えしたい豆知識になりますが、千円札は、神奈川県に関係が深い紙幣です。

まず、千円札の裏面を見ると、波が描かれています。これは、江戸時代の浮世絵師・葛飾北斎の代表作で、知名度も高く、世界の芸術家に影響を与えた「富嶽（ふがく）三十六景」の一つ「神奈川沖浪裏」を描いたものです。保健室前のポスターにも説明がありますので、のちほどご覧ください。

そして、千円札の表面のデザインは、細菌学者の北里（きたさと）柴三郎さん。世界で初めて破傷風菌の純粋培養を成功させ、血清療法を確立。ペスト菌の発見や伝染病予防法の制定に携わる等、感染症制圧に生涯をささげた人です。彼は、相模原市南区にキャンパスを構える北里大学の学祖で、南区の町名「北里（きたさと）」の由来ともなっています。

さて、話を戻します。たまたまですが、そのようなエピソードのある新札へと変わりはじめたこの年度末にあたり、

「夢を持つことが大きな力になること」

「さまざまなことに挑戦をし、経験を積むこと」

「家で毎日、将来に向けた基礎をつくる」

そのために心機一転、気持ちを切り替えることを期待しています。

この3つの「行動」を起こすことの大切さは、先日、卒業生講話の「ほねごり社長の阿部先輩」のお話できっとおわかりのことでしょう。

では、ここで生徒の皆さんが、元気に学校生活をしていくために改めてお伝えしたいこと。三つあります。

まず、一つ目。

今年度も、上溝高校、施設面が改善されています。体育館やグラウンドの照明は、すべてLEDに変わりました。食堂の扉もリフォームしました。来年度には、空調設備が入る予定です。校舎内の床のワックスがけも済み、ピカピカになっています。

安心・安全な教育環境が整っている学校です。とても素晴らしく、ありがたいことです。授業、学校行事、部活動に安心して取り組んでください。

二つ目です。

自転車通っている生徒の割合が多い学校です。**自転車での事故が多い**です。登校途中に転倒や衝突して、救急搬送されるケースも複数ありました。

ヘルメット着用は、努力義務ですが、自分の命を守るためにもヘルメット着用をしてほしい。安全と命を主体的に守っていただきたい。

三つ目です。

校長として、先生方には、「生徒は「宝もの」です。」という話をしています。

皆さんは、**無限の可能性をもった「宝もの」**です。

先週末、成績に関する会議がありました。進級について話し合う会議です。

・テストの点数がとれない⇒

勉強してください。わからなければ教科の先生に聞く。

友だちに聞く。決して、はずかしいことはありません。

わからないままにしておく、放っておくことが恥ずかしいです。

・テストの点数が低い⇒

教科担当の先生は、テスト以外の方法でも皆さんの学習の取組や成果を見て、受けとめています。

その一つが、課題の提出です。提出物はきちんと、指定された期日までに提出することが本当に大切です。

生徒の皆さんにもう一度お伝えします。

授業を大切にしてください。集中してください。そのためにも、授業を受けっぱなしでなく、家で勉強する習慣をつけてほしい。復習からはじめてほしい。

まずは、毎日1時間の学習を習慣づけられれば、その後の大学受験に向けて大きく確実な基礎力がつくと言われていています。必ず、「学力」はつきます。だれのためにやっているのか、必ず自分にかえってきます。

今年度を振り返り、「夢や希望、目標を持って、失敗を恐れずに挑戦し続け、一人ひとりにとっての人生の基礎を自分たちでつくる」。期待しています。

以上で、令和6年度 上溝高等学校の修了式 校長のことばとします。

令和7年3月25日
神奈川県立上溝高等学校長 内田 勝久